



石名坂の竜(龍)泉寺跡

再発見 ふるさと風土記

〔4〕 新城のアビコって何だ

上新城の歴史で中世を語るとき、「アビコ」の名は外せない。松木台の山の城塞が「アビコ館」。その館を守護したのが「アビコ沼」の大蛇だ。また石名坂の古刹・竜泉寺の開祖は「アビコ三位卿」だったと言うから、まずはその「アビコ」を解明したい。

「アビコ」とは古来、一族の姓(かばね)の名だ。それが時を経るにつれて分かれ、それぞれが住み着いた土地の名になって、住人の氏や名字になった。千葉の我孫子市、安孫子、阿毘古、安彦等の地名、山形には我孫子県知事の名もある。新城の小友館は、主の名が当初、阿彦佐七だったから安彦館で、竜泉寺はその安彦の菩提所。城の守護神が棲んだ湖沼は安彦沼なのだ。

アビコについては菅江真澄も、津軽で聞いた話として『しのはぐさ』に書き留めている。「古代、神武と争って負けたナガスネヒコの兄アビヒコが、逃れて津軽の安東(ヤスハル)浦に住み安東を名乗った」。鎌倉期、奥羽合戦で敗れた安倍宗任も安彦の分かれで、その遺児千寿丸が十三湊で安東を名乗り「日本將軍」とまで誇称する。その安東の末が秋田城之介実季だと言う。安彦を始祖に、安東・安藤、安部に阿部・安倍も根っこは皆同じだ。

郷土史研究家 永田 賢之助

私のメモリー



思い出がつまった故郷

「出身はどこですか？」地元を離れ、進学や就職した先で何度も聞かれました。私はいつも胸を張って答えています。田舎だと思ふ人もきつとありますが、田んぼの匂いや鈴虫の声、真夏でも冷たくて綺麗な川、四季それぞれ違った姿になる山。どれも今住んでいる場所では感じる事ができないものです。自然豊かな場所でのびのびと過ごしたことは、今思えばとても貴重な日々であったと感じています。地元を離れて何年も経ちますが、今でもふとそんな故郷を思い恋しくなることも少なくありません。

母校である上新城中学校には、卒業してから何度も友人と遊びに行きました。教室や体育館、グラウンド、玄関にも、たくさんの思い出がつまっています。「ここではこんなことがあったよね」と話が尽きなかったのを覚えています。閉校になってしまった時はとても寂しく思いましたが、今「さとびあ」として生まれ変わり活用されているのをただただ嬉しく思います。地元に戻った時にはぜひ体験教室に参加し、また友人と新しい思い出を作りたいです。

村上 彩(上新城小学校 2004年度卒)

人、モノ、風景 上新城 の宝物

おらが郷土の のどかさよ

私、「さとびあ」に着任して間もなく1年となります。当初は上新城のことを全く知りませんでした。地域に暮らす人たちの様子はもちろん、歴史や文化の痕跡を知らなければと資料探しから始めました。永田賢之助先生の研究書を図書館で見つけ、そこから入門しようと試みました。地域のとある方から「上新城音頭」のことをお聞きし、小学校の校長先生を尋ね、子どもたちに踊り方を指導している“ふるさと先生”の存在を知りました。

この上新城音頭をきっかけにたくさんの方たちと出会いました。この唄が生まれた背景を知り、この唄と踊りを愛してやまない女性たちの魅力に感じ入りました。

今、上新城に伝わる宝物探しに取り組んでいます。上新城の魅力を尋ねると、若い世代から高齢世代のほとんどの方たちが異口同音に「何にもないけど、自然に囲まれて穏やかに過ごしている人が多いことかな」と話します。

ある人が言いました。「上新城は桃源郷、だよ」と。私もそんな上新城が大好きになりました。

私の愛唱歌になった上新城音頭に「おらが郷土の のどかさよ 味のある里上新城」とあります。まさにその通りです。エーソレソレ〜♪

秋田市農山村地域活性化センターさとびあ
センター長 渡辺 知





上新城版

さとぴあだより

3月



2022年3月、147年の歴史に幕を下ろす上新城小学校。多くの子どもたちが学び、巣立っていった思い出の校舎で、上新城小学校の最後の校長先生にお話を伺いました。

感謝とともに

秋田市立上新城小学校 第48代校長 いしい まき先生 石井 麻貴先生

— 小学校の閉校について、どのようなお気持ちでしょうか。

中学校の閉校が決まった時にも勤務していたので、とても残念でしたし、地域の方々の思いはいかばかりかと思いました。しかし「決まったからには子どもたちの将来のために。」と、皆さんが学校をともに支えてくださりとても感謝しています。

— 上新城小学校での思い出を教えてください。

以前勤務していたときには、校舎全体を使つての鬼ごっこや太平山まんたらめでの肝試し、今年はPTA主催の「思い出屋台」や「逃走中」。そして共通した思い出は、一人何役もこなす「せせらぎフェア」とふるさと先生との体験学習などたくさんあります。上新城小学校だからこそできた思い出です。

— 児童の皆さんへ伝えたいことはありますか。

6年生を中心に上新城小学校のアンカーを務めたこの1年。楽しいアイデアと抜群のチームワークで14人の笑顔がたくさん輝きました。新しい生活の始まりや友達との出会いは、緊張するけれど楽しいものです。自信をもってスタートしてください。

— 最後に、上新城に暮らす方たちへ一言お願いします。

閉校にあたり「痛ましいな。」「寂くなる。」という言葉とともに「できることがあったら何でも言って。」と温かい言葉もたくさんかけていただきました。そんな上新城を子どもたちは大好きで誇りに思っています。わたしたち職員も、改めて地域の方々の優しさや心意気、愛校心や郷土愛にふれた1年でした。

これからも地域の行事などを通して、新しい絆が生まれることを願っています。

石井校長先生、ありがとうございました。



PTA主催の鬼ごっこ「逃走中」では子どもたちの大歓声が校内に響きわたった



147年目の「上小お誕生日会」で上新城音頭を踊る子どもたち

つるし飾り展示会

地元、上新城地区の婦人グループ「ゆりの会」の皆様が制作したつるし飾りの数々です。我が子の健やかな成長を願って作る“つるし飾り”優しく深い想いが込められています。

3.11(金)まで

ヒストリー

「思い出の上新城中学校」資料展

懐かしい上新城中学校を振り返る資料パネル展を開催中です。全卒業生の集合写真を展示中です！お気軽にお越しください。

3.31(木)まで開催中

3月の講座一覧

3/4 金 思い出の歌声喫茶

3/9 水 ペーパークラフトでオシャレな卓上時計づくり

3/16 水・23 水 かご編み体験 ~布テープで買い物かごを作る~

3/17 木 七宝焼きでアクセサリーづくり

3/20 日 味噌づくり体験講習会

「落語寄席」開催延期のお知らせ

3月19日(土)に開催を予定しておりました「落語寄席」は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、延期とさせていただきます。

6月18日(土)に開催する予定です。

「上新城さとぴあだより・ふるさと瓦版」は、上新城地区の瓦版です。次号の配布は、5月5日・6日の予定です。地区の皆さんにお知らせしたい情報がありましたら、「さとぴあ」までお寄せください。

